

NL36 発送作業に参加して

中内 彩香

先の2月13日、ニュースレター発送作業にボランティアとして参加させて頂きました。

ふとしたきっかけで「自分(他人)が幸せになる過程で他人(自分)も幸せになることができれば、それほどいいことはない」と思うようになり、ボランティア活動に興味を持ち始めました。そして偶然見つけた今回のボランティア作業。飛び込んでいったものの、緊張や不安も少なからずありました。

温かく迎えて下さったスタッフの方々のおかげで、そんな心配は無用だと気付くのに時間はかかりませんでした。実際の作業としては、送り状の宛名・コメント書き、発送用封筒の準備、封入等でした。送り状のコメントを書きながら、ふと「自分のこのボランティアがどのようにカンボジアへの支援に役立っているのだろう」と思いました。直接寄付をしているわけではなかったのですが、正直なところ自らの問いに即答できなかったのです。しかし、3つの考えを持つに至りました。①(非常に現実的な話ですが)人件費分が寄付として回すことができる。②寄付を頂いた方への広報の一端を担うことができる。③何より私自身が、本ボランティアの趣旨を理解し関心を持つようになった、ということです。まず「知る」、「興味を持つ」ことが今後のアクションのきっかけとなります。今回その新たな第一歩を踏み出せたことは、私にとっても大きな収穫となったことは言うまでもありません。

このボランティア活動を終えた直後に持った感想は、始めは予想していなかった「単純に楽しかった」。目指す「自分(他人)が幸せになる過程で他人(自分)も幸せに」ということが体現できたと感じています。今回の経験を礎に、これからもこのマイ理念(大げさですが)のもと、社会に自分ができること・したいことを実践していく決意です。

最後になりましたが、今回お世話になりました皆様方、本当にありがとうございました。今後更なる関心が日韓アジア基金に寄せられ、より多くのカンボジアの子どもたちの笑顔が見られることを切に願っています。

